

CASBEE® 新築[簡易版]

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.8)

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|----------------------|--------|------------|
| 建物名称 | (仮称)大嶋力サービス舞鶴店 | 階数 | 地上2階建 |
| 建設地 | 京都府舞鶴市字十倉75-5 | 構造 | S造 |
| 用途地域 | 準工業地域・第一種住居地域、法22条地域 | 平均居住人員 | 25人 |
| 気候区分 | | 年間使用時間 | 4,380時間/年 |
| 建物用途 | 事務所、工場 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 平成26年 予定 | 評価の実施日 | 2013年12月2日 |
| 敷地面積 | 5,242 m ² | 作成者 | 代表取締役 大嶋明 |
| 建築面積 | 2,037 m ² | 確認日 | 2013年12月2日 |
| 延床面積 | 2,159 m ² | 確認者 | 代表取締役 大嶋明 |

| 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート) | | 2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート) | | 2-3 大項目の評価(レーダーチャート) | |
|--|-------------------------------|---|------|----------------------|--|
| BEE = 1.2 ★★★★☆ | A: ★★★★☆ B: ★★★☆ B+: ★★☆ C: ☆ | 30%: ★★★★☆☆ 60%: ★★★☆☆☆ 80%: ★★★☆☆☆ 100%: ★☆☆☆☆ 100%超: ☆☆ | 標準計算 | Q2 サービス性能 | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したもので、(kg-CO₂/年・m²)</p> | | | | | |

| 2-4 中項目の評価(バーチャート) | | Q のスコア = 2.9 | | Q3 室外環境(敷地内)のスコア = 2.2 | |
|--------------------|--|-------------------------|--|----------------------------|--|
| Q 環境品質 | | Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.3 | | Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.1 | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| LR 環境負荷低減 | | LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.8 | | LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.8 | |
| | | | | | |
| | | | | | |

| 3 設計上の配慮事項 | | |
|--|---|--------------|
| 総合 | | |
| 主要用途が、自動車整備工場であり、それに付属して事務所・展示スペースとなっている。事務所部分はAM8時30分～20時まで営業している。また、工場部分は24時間365日・年中無休で営業をしている。省エネを第一に考え、外壁面にはできる限り窓を設け、屋間はできるだけ照明を使用せずに済むようにしている。 | | |
| Q1 室内環境 | Q2 サービス性能 | その他 |
| 屋光率は事務所・工場共に2.5%以上である。内装材は、F★★★★を全面的に採用している。 | 天井高は2.9m以上で、階高は、3.9m以上であり、ゆとりのある空間形成に努めている。配管材は、耐用年数の長い材質の採用に努めている。 | Q3 室外環境(敷地内) |
| LR1 エネルギー | LR2 資源・マテリアル | Q3 室外環境(敷地外) |
| 太陽光発電を採用している。LED照明を採用し、省エネに努めている。 | 自動水栓を採用し、節水に努めている。断熱材は、GWを採用している。 | 駐車場の確保をしている。 |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用・改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される